



吉田宣之校長による受講生の意見に耳を傾け企画や運営を考えていきたいとする考えの下、受講生による運営委員会が設置されることとなった。運営委員会は、立候補による十三名(専門政治講座七名、一般社会人講座六名)より構成される。第一回運営委員会(七月九日)の冒頭にあたり、吉田校長より「第十三期を座学と実践を両立していくにあたり、受講生からの意見を拝聴したい」

第十三期運営委員会発足

「政大受講生による新しい議論の場」

加藤洋治事務局長より「各受講生が安心して勉強に努めることができる場を提供する上で、積極的な意見を期待する」との趣旨説明がなされた。政大の新しい取組として教授陣、事務局、受講生が三位一体にて、政大の活動を支えていくこととなる。

運営委員会の顔ぶれ

朝雄健一郎(一般・横浜市鶴見区)
阿部宏史(専門・川崎市中区)
阿部浩幸(専門・横浜市中区)
伊藤龍一(一般・横浜市港北区)
大木丈二(一般・横浜市神奈川区)
大山健一(専門・横浜市)
小田切雅義(専門・横浜市中区)
佐藤眞次郎(一般・横浜市中区)
須藤賢一(専門・茨城県行方市)
中村智恵美(一般・横須賀市)
長谷川琢磨(専門・横浜市都筑区)
藤本由紀子(一般・藤沢市)
洞田慎一(専門・逗子市・委員長)

※五十音順・敬称略

かながわ政大新聞

発行・編集

自由民主党かながわ政治大学校

運営委員会(第13期)

担当事務局: 木村大輝

問い合わせ先: 045-641-8723

kimura@k-ldp.jp

2011.09.10 / 1号

運営委員会では、洞田慎一氏(逗子市)を委員長に決定し議事をスタートした。洞田氏は「どのような活動であれ、受講生の活動は政治活動に結びつくもの。政治の責任を問われる今日、受講生各人が責任の意識を持つてあたるべきである。そのとりまとめ役として運営委員会が機能するよう努めたい」と発言した。運営委員会の議論の方針は、「自民党の綱領、方針等に添った活動を通じて、人材を育成することに繋がること」を軸として、受講生が日々の勉強・研究活動を学則に準じて行っていくことができるよう調整役の機能を果たすよう議論していくこととしている。

「防災・エネルギー」視察・見学企画

6月実施校長レポートを検討

受講生見学企画

- ① 神奈川県防災対策本部／神奈川県議会(十月十四日(予定調整中))
- ② 横浜市民防災センター／三菱みなとみらい技術館(十一月五日)

吉田校長は、今期のテーマとして、国の安定的発展と国民の幸福という政治理念の基本的視座に立った上で、三種の変容を受講生に宿すためには、座学と実践が重要とつとに発言されてきた。運営委員会では校長レポートの結果を受講生の視点から議論を行った。議論の結果、三月に発生した震災やエネルギー政策について、視察研修を軸として受講生の体験や討論に結びつけた、政大ならではの企画を行いたいとの結論に達し、具体的な企画を事務局と調整に入った。

議論・企画等の方針

- ① 自民党の綱領、方針等に添った活動を行うこと
- ② よりよい政治活動を担う、よりよい人材を育成することに繋がること
- ③ 誰もが賛同・参加できる要望・企画を、開かれた場にて議論すること

運営委員会の活動

- 運営委員会広報資料の編纂・発行
- 運営委員会が編集にあたり、運営委員会の報告の他、受講生の活動状況等を情報に加えるなど工夫する。
- 受講生の交友活動の推進
- 講義後の勉強会や声がけや、交友を深めるための懇親会など、受講生の自主的な勉強・研究活動を支援する。

防災・エネルギー政策に関連した講座の開講等計画が進められている。十二月には受講生討論会も予定される。運営委員会では、「受講生同士の交友や、ミニ勉強会を開くなど、講座後の時間などを活用し、自主勉強をしていただきたい」としている。

《特集》 受講生の実践活動

座学と実践の両輪

予算ヒアリングの手伝いを通して

専門政治講座

長谷川琢磨（横浜市都筑区）

神奈川県議会第二回定例会が七月十四日に終了した次の週、自民党神奈川県議団の先生方は休むことなく十九日から四日間、県庁にて予算ヒアリングを実施されました。事務局を通じて専門政治講座受講生に案内が配布されたことにより、多くの方がお手伝いに参加していました。議員と団体の議論を目の前で見ることができ、県内の問題や要望を把握できるだけでなく、質問の仕方

でもとても勉強になります。加えて、県連や議会事務局の仕事を知ることでもできる、貴重な実践勉強の場です。このような勉強の場を毎年確保していただいている県連に感謝します。

受講生に割り振られる役割は、まさに実践です。県連職員の指揮の下で本番を経験します。とはいえ、どなたでもできる作業ですので、多くの方に参加していただき、体験を分かち合いたい。実践しての活動は、座学よりも数倍印象に残りやすく感じます。県連にはこれからも受講生が参加できる実践の場を提供いただければ幸いです。

かながわ自民党 市町村議員協議会 政策勉強会（石破茂氏講演）への参加

専門政治講座

阿部浩幸（横浜市中区）

専門政治講座の受講生を対象とした案内がなされ、時間を調整し参加した。自分なりに講演をまとめると、「小選挙区の導入により自民党がダメになった。また、自民党は政策の名前の付け方が悪く、七十歳以上の保険制度を後期高齢者医療保険制度と命名し、これ以上先が無いような印象を与えた。これが年寄りいじめのように映ったことで、選挙に負けた。昨今のエネルギー問題に話を移すと、原子力を廃止と考えているドイツは、フランスから原子力で発電した電力を購入でき、石炭火力発電を活用する事で、電力問題で逼迫することはない。しかし、

東日本大震災・ボランティア活動を通して学んだこと

一般社会人講座

森 和久（鎌倉市）

私は、市民で構成される鎌倉ガーディアンズに登録しており、七月十七日に計画された東松島市、多賀城市の視察参加しました。その様子は、鎌倉版タウンニュースにも取り上げられています。また、今回視察した東松島市の「野蒜（のびる）」を撮影した動画をYouTubeに投稿しております。検索する場合は、YouTubeのトップページから「野蒜20110717」で検索すると、十一本が表示されます。百聞は一見にしかずです。



へ日本はそうは行かない。想定外といった話では、危機管理をやる必要がない。二〇〇七年に貞観地震についてレポートが東電に上げられたが経営者が握り潰した。絶対安全といわないと原発ができなかった戦後の環境はあった。何が間違っていたかを自民党として考え直さなければいけない。」というものであった。議員の勉強会は、普段の講義とはひと味違った体験であった。

編集後記

運営委員会の議事をどのような受講生に伝えるのがよいか諮ったところ、「議事録では硬すぎて誰も読まないから、講座後に口頭でよいのではないか」とのことになりました。委員長の方針に説明では伝わりにくからうということや、受講生は様々に実践活動を展開しているのです、ということ伝える

一般社会人講座

大木丈二（横浜市神奈川区）

六月三日～五日に参加した震災復興のボランティア報告です。やはり現地の状況は凄まじく、現地を目で見る大切さを実感しました。場所は岩手県陸前高田市、作業は田んぼのがれき除去。三十人で一日かかって田んぼ三枚！現状や復興の厳しさを肌で感じる事ができました。神奈川県災害ボランティアネットワークのバスが横浜西口から頻繁に出ています。みなさんもぜひ、現地に足をお運びください。



■問合せ先
横浜災害ボランティアネットワーク
ワーク会議
TEL: 045-201-8620
FAX: 045-201-1620



ことで政大を盛り上げていくことも重要ではないかと紙面を作成しました。開講から半年が過ぎ、九月からは特別セミナー実行委員会も始まります。にも関わらずお互いの名前と顔が一致していないことがないよう交友を拡げていただきたい。小グループの勉強や研究など、交友の輪を広げていきましよう。紙面を通して、受講生同士のご縁を形成できれば幸いです。（洞田慎一）

